

秋色に染まる
安曇野に向かって

11/5

土

「アルプススカイグランプリ'05」が11月5日と6日の両日、明科の長峰山山頂で開催されました。

この日は、ハンググライダーとパラグライダーの競技に約70人の選手が参加。ハンググライダーは、長峰山から直線距離で14^{km}。地点の高瀬川上流の大町市宮本橋までの飛行距離を競い、パラグライダーは、明科光地区に設定された目的地点にどれだけ近く着地できるかを競いました。

選手たちは、秋色に染まる安曇野と北アルプスに向かって次々と飛び立っていきました。

10/22

土

福岡・花どんたくに
安曇野市が参加

全国都市緑化ふくおかフェア（愛称：アイランド花どんたく）の「東区の日」が10月22日、福岡市で開催されました。

安曇野市は、福岡市東区の友好都市として参加し、安曇野の観光PRなどを行いました。「子どもにもっと野菜を好きになってほしい」という願いから生まれたユニット・マイさん（穂高在住）の曲「やさい王国」が披露されると、福岡の子どもたちが踊りに加わるなど、お互いに交流を深めました。

安曇野の
道祖神について学ぶ

10/29

土

三郷の貞享義民記念館は10月29日、「安曇野型の道祖神めぐり」を開催しました。

この日は、三郷地域の住民など19人が参加。豊科在住で日本石仏協会理事の石田益雄さんを講師に迎え、穂高・堀金・豊科地域などの道祖神を訪れました。参加者は、道祖神にまつわる話や石に彫られた模様の説明を聞きながら、安曇野の道祖神を学びました。参加した女性は「話を聞いて、もっと道祖神について知りたくなりました」と話していました。



11/3

祝

秋の味覚が大集合

今年で10回目を迎えるほりがね特産祭りが11月3日、旬の味ほりがね物産センターで行われました。

地元特産物、友好都市の神奈川県真鶴町の特産物の販売のほか、餅投げ、海鮮大鍋、太巻きづくりなどの多数のイベントが行われました。堀金特産の「きび」を使った餅つき大会では、キネでついた薄黄色の餅に長蛇の列ができ、来場者は舌鼓を打ちました。

午後からは、あいにくの雨となりましたが、会場は家族連れなど多くの人でにぎわい、終日で約7,000人の来場がありました。豊科から来たという女性は「毎年来ていますが、年々活気付いてくる気がします」と話していました。



10/20

木

百歳の長寿を祝う

9月15日の「老人の日」に合わせて、今年百歳を迎える高齢者に内閣総理大臣の祝い状が贈られました。これは、国民が老人福祉への関心と理解を深めることと、老人が自らの生活の向上に努める意欲を促すための一環として行われているものです。

今年、市内で百歳を迎えられたのは、男性2人と女性7人の9人。市の担当者が一人ひとり訪れ、内閣総理大臣の祝い状と銀杯を手渡しました。このうち、豊科に住む飯沼安恵さんは健康の秘訣を「早寝早起きと好き嫌いなく何でもおいしく食べることです」と元気に話してくれました。

